

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 流山市社会福祉協議会

令和元年度社会福祉法人流山市社会福祉協議会事業報告

令和元年度は、「第2次流山市地域福祉活動計画」と「流山市社会福祉協議会活動強化計画」に中間年として各種事業を展開しました。

児童福祉については、増え続ける学童クラブのご利用者に対応するため夏休み前にオープンした鱈ヶ崎小学校区第3ひまわり学童クラブの指定管理者として働く保護者の皆さんを応援し、子どもたちに快適で安全な放課後の場の提供に努めました。なお、新型コロナウイルス感染症予防のため3月から一斉休校となったことを受け、夏休みなどと同様、朝7時から開所しました。

また、子ども食堂を応援するためのイベントの後援などを通して、活動への理解を呼び掛け、集まった寄付をお届けしてその活動を支援しました。

「子育てサロン」を共催している流山市民生委員児童委員協議会と連携し、全国民生委員児童委員連合会の依頼を受け、その活動への理解や普及のための音楽動画を流山市内で制作し、無料動画サイトや市内駅前サイネージなどで公開するに至りました。

高齢者福祉については、楽しみながら介護に触れる機会を提供しようと7月に「ケアセンターまつり」を開催しました。また、増え続けるお一人暮らしのご高齢者の生活を支援するため、成年後見制度の相談会を増設し、裁判所から講師を招き講演会を開催するなど、その普及啓発に努めました。元気な高齢者が、要介護のご高齢者をサポートする介護サポーター養成講座を公民館と連携し普及拡大に努めました。

障害者福祉については、就労継続支援B型「流山こまぎ園」の老朽化が進んでいたことから施設点検などを充実させ、快適な就労環境の確保に努めました。また、自閉症の方々の絵画展や障害者のためのコンサートをはじめ「バリアフリーおはなし会」などを後援し、障害者の文化芸術活動を側面から支援する一方、流山市教育委員会と共催で続けている「バリアフリー演劇鑑賞会」も4回目を迎えました。

経営改革については、プロパー職員から初の課長職の辞令を発し、介護現場や学童クラブでの新規採用による増員を図りました。また、共同生活援助事業所「野々下の樹」の協力を得て、自動販売機を設置し自主財源の確保に努めました。

災害対策については、5月に非常時の伝達訓練と併せた徒歩や自転車による参集訓練を行い、9月には流山市総合防災訓練に参加し「災害ボランティアセンター」の活動内容を紹介しました。台風15号と10月の大雨によって千葉県内の被害が甚大であったことから3市1町に38日間、職員を交代で派遣しました。さらに3月には、日曜日に常勤職員全員が参加して災害ボランティアセンターの運営訓練を行い、災害時に備えました。

生活困窮者については、「愛の資金」を前年度の倍額に補正増して生活支援を行い、一方で「ミニフードバンク」を活用して食品の提供にも力を入れました。また、3月には新型コ

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減少があった世帯の資金需要に対応するため、生活福祉資金貸付制度の緊急小口資金および総合支援資金について特例措置が講じられたことを受け、相談体制を強化し困窮者の生活を支援しました。

1 社会福祉事業

(1) 法人運営

・組織の運営

○理事会

期 日	主な内容
令和元年 5月23日	<令和元年第2回> 平成30年度事業報告・決算の認定について 他
6月12日	<令和元年第3回> 委員会規程の一部を改正する規程の制定について、会長及び副会長の選任について 他
8月29日	<令和元年第4回> 令和元年度社会福祉事業区分補正予算について 他
12月10日	<令和元年第5回> 令和元年度社会福祉事業区分及び公益事業区分補正予算について、評議員の推薦について 他
令和2年 3月19日	<令和2年第1回> 令和元年度社会福祉事業区分及び公益事業区分補正予算について、令和2年度事業計画・予算について 他

○評議員選任・解任委員会

期 日	主な内容
令和元年 5月24日	<令和元年第1回> 評議員の選任について
12月10日	<令和元年第2回> 評議員の選任について

○評議員会

期 日	主な内容
令和元年 6月12日	<令和元年第2回> 平成30年度事業報告・決算の認定について 他
9月19日	<令和元年第3回> 令和元年度社会福祉事業区分補正予算について
12月18日	<令和元年第4回> 令和元年度社会福祉事業区分及び公益事業区分補正予算について

令和2年 3月24日	<令和2年第1回> 令和元年度社会福祉事業区分及び公益事業区分補正予算について、 令和2年度事業計画・予算について
------------	---

○三役会

期 日	主な内容
令和元年 5月21日	<令和元年第2回> 平成30年度事業報告及び決算について 他
令和2年 3月16日	<令和2年第1回> 令和元年度社会福祉事業区分及び公益事業区分補正予算について、 令和2年度事業計画・予算について 他

○委員会等

①広報・高齢者対策委員会	令和元年5月31日、9月2日、令和2年3月3日
②児童・障害者対策委員会	令和元年10月7日
③歳末たすけあい配分委員会	令和元年11月19日
④心配ごと相談所運営会議	令和元年5月28日、7月26日、10月29日、 令和2年2月21日

○監査

期 日	主な内容
令和元年 5月15日	平成30年度監査
10月24日	令和元年度中間監査

・組織体制基盤の強化

○研修

市民のニーズに的確に応え、優れた福祉サービスを提供していくために、職員一人ひとりが役割に応じた能力を備えられるようにするとともに、社会福祉協議会のより一層の組織力の強化を図ることを目的に実施している。

令和元年度は、流山市社会福祉協議会活動強化計画にも位置付けられている職員がボランティア活動などに参加し、職員自身の成長を促す仕組み作りに積極的に取り組むことを目的に、長時間労働の健康影響と災害に対する当会災害ボランティアセンターの役割について、理解と認識を深めた。

期 日	主な内容
令和元年 9月 4日	「長時間労働の健康影響について」 【講師】 石渡クリニック院長（産業医） 石渡 隆 氏
令和2年 1月22日	「災害ボランティアセンターについて」 令和元年の台風15号・19号の風水害における千葉県内 市町村社協災害ボランティアセンター運営支援派遣報告 他

・ 会員募集

社協会費は、さまざまな福祉関係団体への助成、福祉教育やボランティア活動の推進、地区社会福祉協議会、高齢者の福祉対策費等に充てられ、「誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくり」を目指した本会の事業を進める上での大切な財源となっている。

また、社協会員になることによって、一人ひとりが「地域福祉」を自らの活動として受け止め、地域福祉活動に間接的に参加していただくという意味合いも持っている。

社協会費について、普通会员は全世帯の皆様にお願ひし、本会が行う社会福祉事業推進活動にご理解ご賛同いただける個人や法人の皆様には、賛助会員、法人会員としてご協力をお願いした。

○ 協力員会議

市内の各自治会よりご推薦をいただいた協力員を対象に、協力員会議を開催し、社協活動（地域福祉の推進活動、生活困窮者への貸付、高齢者・障害者等を支えるための福祉サービス事業、ボランティア活動の推進事業等）の資金の一部に充てられる会費と公的施策のみで支えられない分野を支援するための民間福祉事業の財源の確保や、募金活動を通じての住民相互の助け合い精神の普及を目的とした赤い羽根募金、地域住民や民生委員・児童委員、社会福祉施設等の関係機関や団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に援護を必要とする世帯等への支援や地域福祉活動推進・強化のための歳末たすけあい募金の取りまとめについて依頼した。

なお、令和元年度は2日間の開催のうち、平日と休日にそれぞれ行い、協力員178人中131人が参加し、前年度よりも10人増加した。

協力員会議

期 日	場 所	時 間	出席者数 (カッコ内は昨年度出席者数)	
令和元年 6月28日(金)	ケアセンター	午前10時	29人(32人)	131人 (121人)
	初石公民館	午後2時	38人(32人)	
6月29日(土)	北部公民館	午前10時	38人(41人)	
	東部公民館	午後2時	26人(16人)	
<会議事項> <ul style="list-style-type: none"> 1) 社会福祉協議会の主な活動について 2) 社会福祉協議会会費及び共同募金運動について 				

(2) 広報啓発

①広報紙「ながれやま福祉だより」の発行

年4回(6・9・1・3月)

(新聞折り込みにより全世帯配布)

②ホームページの運営

③パンフレットの発行

(世帯回覧のほか、公共施設の窓口等で配布。)

④SNSによる情報発信(ツイッター及びフェイスブック)

⑤その他

災害をテーマにしたNHKドラマや学校教材の制作などに協力。全国民生委員児童委員連合会による同委員活動への理解を深めるための動画「民Say!Rap!」の制作に協力した。また、マスコミ・ミニコミへのパブリシティ活動を行い、福祉活動への理解を求めた。

(3) 福祉活動

・福祉団体の支援及び連携、協働

地域福祉の充実と向上を図ることを目的とした福祉関係団体(柏地区保護司会流山支部、東葛飾地区更生保護女性会、流山市原爆被爆者の会、流山市身体障害者福祉会、流山市視覚障害者協会、精神障害者家族会よつば会)等の活動に対し、その運営及び事業活動への助成を行うことにより、地域福祉の推進を図った。

流山市民生委員児童委員協議会や流山市老人クラブ連合会、流山市シルバーサービス事業者連絡会の事務局を運営し、各種事業の企画・運営や関係機関との連絡調整等に努めた。

(4) 地域福祉推進

誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくりの実現を目指し、小・中学校のご協力をいただき、啓発用のポスターを作成し、市内公共施設や自治会掲示板に掲示した。また、11月の地域ぐるみ福祉活動推進月間には、流鉄株式会社にご協力をいただき、流鉄流山線の車内にも啓発用ポスターを掲示したが、同時期は児童虐待防止推進月間でもあり、民生委員児童委員協議会で実施している児童虐待防止標語ポスターもあわせて掲示し、広く住民の皆様に福祉を啓発するとともに、地域福祉活動の中核を担う地区社会福祉協議会活動の支援や地域ぐるみ福祉活動の推進に努めた。

また、令和2年3月に、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ、赤十字奉仕団等福祉関係団体との地域懇談会を開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催を見送った。

・流山市地域福祉活動計画の推進

地域懇談会の開催

(市内4圏域で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を見送った。)

・ミニフードバンク事業（善意の受入・払出）

社会福祉協議会では、善意の受入・払出として住民の皆様からの善意で提供いただいた物品を、支援を必要とされている方に提供した。

お寄せいただいた物品のうち、特に、食料品（お米・レトルト食品など）や日用品（洗剤・ハンドソープなど）については、ミニフードバンク事業として、一時的に生活に困窮している方や、市内の子ども食堂へ提供した。

また、この事業は生活困窮者自立支援制度の自立相談支援機関（流山市くらしサポートセンターユーマット）と連携し、対応している。

このほか、平成30年度に続き、フードバンクちばのフードドライブ（食品回収）設置窓口として、第22回、第23回、第24回のフードドライブに協力し、住民の皆様からご提供いただいた食料品をフードバンクちばに届け、さらに、令和元年11月に発足した「とうかつ草の根フードバンク」とも連携し、東葛飾地域におけるフードロスや食糧支援の対応への協力体制を構築した。

善意の受入・払出実績

品名	受入件数	払出件数
食料品	20件	22件
日用品	20件	20件
介護用品	23件	11件
その他	11件	12件
合計	74件	65件

フードドライブ実績

回数	期間	受入件数
第22回	令和元年5月13日～6月28日	1件
第23回	令和元年9月17日～10月31日	2件
第24回	令和2年1月20日～2月28日	2件

・子育てサロンの開催

生涯学習センター・民生委員児童委員協議会・社会福祉協議会の三者共催で、乳幼児をもつ親子に交流を深めていただくとともに、日々の子育ての中で抱く様々な悩みや不安の解消を図ることを目的として、生涯学習センターを会場に子育てサロン「サンサン」を隔月開催した。

期日	内容	参加者数
令和元年5月29日	健康ミニ講座、手遊び、軽いヨガ、ペープサート 他	16組32人
7月31日	工作「風鈴」、手遊び、軽いヨガ 他	16組32人
9月25日	工作「ハロウィン飾り」、エプロンシアター、軽いヨガ 他	21組42人
11月27日	健康ミニ講座、手遊び、軽いヨガ 他	17組34人
令和2年1月29日	節分イベント、手遊び、軽いヨガ 他	12組24人

・ 地区社協活動の推進

○地区社会福祉協議会代表者会議

(3月に開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止)

・ 福祉教育活動の支援

○地域ぐるみ福祉事業の推進

市民まつり（福祉会場）や市内全域において、啓発活動等を実施し、福祉への意識の高揚に努めた。

期 日	内 容
令和元年10月7日	児童・障害者対策委員会 (地域ぐるみ福祉のまちづくり推進ポスター及び推進標語の審査) 応募数 ポスター 小学生22点 中学生13点 標語 小学生48点 中学生17点
11月3日	市民まつり（福祉会場）における啓発活動
11月1日～12月末	地域ぐるみ福祉のまちづくり推進ポスター及び標語の最優秀賞作品を掲載したポスターを市内公共施設や自治会掲示板、流鉄流山線車内に掲示し、福祉の啓発をした。

(5) ボランティアセンター

・ 災害時の対応

災害ボランティア講座の開催や、総合防災訓練、コミュニティケア会議等への参加を通じ、災害ボランティアセンター立ち上げ時の運営支援者の養成や活動紹介を行うとともに、災害時に備えた各種団体等との連携・協力体制の強化を図った。

また、大規模災害における職員の緊急参集体制を検証するために職員非常参集訓練を実施したほか、災害ボランティアセンターの立上げに備え、屋外での運営訓練を実施し、職員の防災意識の向上を図った。

令和元年台風15号など頻発した台風・大雨により県内各地で発生した災害については、千葉県社協と連携し各被災地社協の災害ボランティアセンターへ応援職員を派遣し、被災地支援に努めた。

派遣場所及び期間：木更津市 9月18日～20日
 富津市 9月21日～30日、
 10月3日～9日、14日～18日、

21日、23日、28日～30日

茂原市 11月6日～10日

長柄町 11月20日、21日、27日

派遣日数及び人数：38日間・延べ38人

○防災に係る取り組み

期 日	場 所	内 容
令和元年 5月26日	自宅～勤務地	職員非常参集訓練
7月 7日	ケアセンター	ケアセンターまつりにおける災害時の トイレに関する展示
9月 1日	南流山小学校	令和元年度流山市総合防災訓練参加 (災害ボランティアセンター紹介)
令和2年 3月 1日	ケアセンター 駐車場	災害ボランティアセンター運営訓練

○災害ボランティア養成講座の開催

講座名等	期 日	内 容	参加者数
災害ボランティア 入門講座	令和元年 9月28日	(1) 「災害時のボランティア活動について」 【説明】 流山市ボランティアセンター (2) 「近年の風水害とその対策」 【講師】 公益社団法人SL災害ボランティア ネットワーク・千葉 流山・野田ネット 岡部 英雄 氏	21人

災害ボランティア リーダー養成講座	10月26日	<講義> 「災害に強い街を目指して 市と市民の取組み」 【講師】 流山市市民生活部防災危機管理課 倉澤 慈人 氏 <説明> 「流山市災害ボランティアセンターについて」 流山市ボランティアセンター <講義・演習> 「災害対応シミュレーション ～クロスロードゲームを通じて学ぶ～」 【講師】 公益社団法人SL災害ボランティア ネットワーク・千葉 流山・野田ネット 岡部 英雄 氏 「応急救護について ～AEDの使用法、応急手当～」 【講師】 日本赤十字社千葉県支部 流山市地区奉仕団 埋金 玲子 氏 海老原智子 氏 武田久美子 氏 久保美智子 氏	13人
----------------------	--------	---	-----

・ ボランティアの活動支援

市民への情報提供及び要請に伴うボランティア活動の調整や機材の貸し出し等を行い、ボランティア活動の支援に努めるとともに、ボランティア・グループ、関係機関・団体との連絡調整を密にし、ボランティア活動の普及と推進に努めた。

① 登録ボランティアの活動状況

年間総活動人数（延べ） 29,670人

ボランティアセンターの要請に基づく活動人数 2,875人

※施設ボランティア（28施設）含む。

区分		高齢者	身体 障害者	知的・精神 障害者	児童	その他	合計
個人	延べ人数	852人	278人	536人	14人	2人	1,682人
グループ	回数	269回	1回	0回	6回	13回	289回
	延べ人数	1,094人	1人	0人	25人	73人	1,193人
合計		1,946人	279人	536人	39人	75人	2,875人

○登録ボランティア人数

個人 773人

グループ加入者数 1,330人(65グループ) 計2,103人

・収集ボランティア活動(使用済み切手等整理：毎週水曜日、そのほか登録ボランティア・グループによる協力)

使用済み切手 226,139枚 ベルマーク 32,679枚

②行事への参加

事業名	期 日	場 所	内 容
平和施策事業	令和元年 7月3日～23日	流山市役所 第2庁舎 304会議室	登録ボランティア・グループによる千羽鶴作成協力
令和元年度障害者週間 展示事業	令和元年 12月3日～9日	流山市役所 第1庁舎 1階ロビー	障害者支援ボランティアの紹介 パネルの展示

③関係団体との連携・協力

令和元年度西深井地域生活支援センター すみれ地域連携会議	令和元年7月31日
流山市地域自立支援協議会地域生活支援部会	令和元年7月30日、10月29日、 11月26日、12月24日、 令和2年1月23日

④機材等の貸出状況

機材名	貸出回数
ワイヤレスマイクセット(ハンド・ピン)・ライト	113回
高齢者疑似体験セット	20回
プロジェクター	15回
避難所運営ゲーム(HUG)	2回
かき氷機	9回
アイマスク・点字器・白杖	9回
その他(スクリーン等)	5回
印刷機	55回
点字プリンター	52回

録音室	162回
合計	442回

・介護支援サポーター事業の推進

流山市より介護支援サポーター事業を受託し、高齢者の社会参加活動を通じた介護予防と地域貢献を推進するため、事業説明会や介護支援サポーター養成講座、フォローアップ講座、広報紙の発行等を行い、サポーター活動の普及と推進に努めた。

①介護支援サポーター事業説明会

回数	期 日	場 所	内 容	参加者数	
1	平成31年 4月26日	ケアセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援サポーター事業の概要について ・サポーター活動開始までの流れについて ・活動実績スタンプの活用について等 	4人	15人
2	令和元年 6月12日	東部公民館		3人	
3	8月 8日	南流山センター		0人	
4	10月18日	初石公民館		7人	
5	12月18日	北部公民館		1人	

②介護支援サポーター養成講座

回数	期 日	場 所	内 容	参加者数
1	令和元年 5月24日	ケアセンター	<説明> 「介護支援サポーター事業について」 ・制度概要、講座～登録～活動までの流れ	13人
2	7月25日	東部公民館	<講義・実習> 「介護支援サポーター活動での心がけ」 ・サポーター活動の心構え ・利用者との接し方～コミュニケーション・傾聴について～車いす試乗・介助体験～	5人

3	9月13日	南流山センター	【講師】 ・江戸川学園おおたかの森専門学校 <講義> 「活動先となる介護保険施設等の理解」 ～介護保険制度の理解について～	5人
4	10月19日	ケアセンター	<講義> 「要介護認定者の心と体を理解する」 ～高齢者特有の傷病について～ 【講師】 ・看護師・保健師	12人
5	11月15日	初石公民館	<講義> 「認知症への理解と対応について」 ～認知症サポーター養成講座～ 【講師】 ・地域包括支援センター	19人
6	令和2年 1月24日	北部公民館	<発表・面談> 『活動スタートに向けて』 ・受入施設職員から自施設における活動紹介 ・サポーターから自らの活動紹介 ・受入施設職員との個別面談	15人
合 計				69人

③介護支援サポーター見学会

回数	期 日	場 所	内 容	参加者数
1	令和元年 5月30日	流山市 デイサービスセンター	・施設概要及びサポーター 活動について ・施設見学 ・個別相談 等 【講師】 受入機関職員	8人
2	7月30日	イリーゼ南柏		7人
3	9月20日	あけぼのデイサービス		1人
4	10月26日	ケアパートナー流山		6人
5	11月21日	流山こまぎ安心館		10人
6	令和2年 1月24日	デイサービスセンター はまなす苑		1人

15人

④介護支援サポーターフォローアップ講座

	期 日	場 所	内 容	参加者数
1日目	令和2年 1月30日	中央公民館	<講演> 「傾聴とは」 「高齢者の特徴と認知症の理解」 <体験学習> ・シナリオを使用しての体験 ・2人組ロールプレイ	37人
2日目	2月 7日	中央公民館	<講義> 「活動にあたり注意したいこと」 <体験学習> ・実例から対応困難な例を体験 ・3人組ロールプレイ 【講師】 NPO法人P. L. A 荒木美津子氏 原田玲子氏	36人

- ⑤令和2年度ゆうゆう大学教養カリキュラムにおける介護支援サポータープログラムの実施
 令和元年度流山市ゆうゆう大学教養カリキュラム（2日間）において、介護支援サポーター活動や要介護者や認知症の方に対する支援についての研修を行いサポーター活動の普及に努めた。

開催年月日	内 容	主催（会場）	参加者数	登録者数
令和元年 12月17日	○介護支援サポーター事業について ○サポーター活動でのこころがけ ○利用者との接し方 ○車いす体験 ○認知症・要介護者の理解と対応について	ゆうゆう大学中央学園 （中央公民館）	41人	9人
12月17日		ゆうゆう大学北部学園 （北部公民館）	52人	14人
12月18日		ゆうゆう大学東部学園 （東部公民館）	34人	17人
12月19日		ゆうゆう大学初石学園 （初石公民館）	53人	7人
12月19日		ゆうゆう大学 南流山学園 （南流山センター）	52人	17人

12月20日		ゆうゆう大学 おおたかの森学園 (おおたかの森センター)	42人	2人
合 計			274人	66人

④介護支援サポーター活動状況

登録者	724人
活動者数	279人
延べ参加者数	5,125人

※受け入れ施設数 75施設

(6) 相談事業

・心配ごと相談所の開設

ケアセンターにおいて、心配ごと相談所を毎週水曜日（午後1時から3時30分まで）に開設し、市民の心配ごと・悩みごとの相談に民生委員・児童委員（18人）が2人体制で応じ、その解消に努めた。

○利用状況

開設日数	46日
相談者延べ人数	36人

相談内容	件数	相談内容	件数
生計	3件	財産	0件
年金	1件	事故	0件
職業・生業	1件	児童福祉・母子保健	0件
住宅	1件	教育・青少年	0件
家族	8件	障害者福祉	0件
結婚	1件	母子福祉・父子福祉	0件
離婚	0件	高齢者福祉	0件
健康・保健・衛生	7件	苦情	3件
医療	3件	その他	11件
人権・法律	0件	合計	39件

○相談内容内
訳

・成年後見相談所の開設

成年後見に関する相談所を開設し、高齢や障害などによって判断能力に不安がある方を法的に支援する制度についての疑問や利用法等の相談に応じ、問題解決に努めた。

回数	期日	場所	相談者数
1	令和元年 6月10日	ケアセンター	2人
2	7月30日		2人
3	9月27日		0人
4	11月18日		2人
5	11月25日		1人
6	令和2年 1月24日		2人

※令和2年3月24日も予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止

・成年後見制度講演会の開催

期日 令和元年11月18日

場 所	ケアセンター
参加者	70名
内 容	「成年後見制度～成年後見にかかわる裁判所の仕事～」 千葉家庭裁判所の主任書記官を講師に招き、講演会を実施した。（※講演会後に臨時の相談会を実施）

（7）福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

判断能力が十分でないため、財産管理や福祉サービスの利用手続きが独力では難しい高齢者や障害者等に対して、日常生活自立支援事業の利用に関する相談、訪問調査、県契約締結審査会へ審査依頼、契約、実際の支援活動を実施した。

また、本会のパンフレットやホームページ、「ながれやま福祉だより」に事業内容を掲載し、民生委員や地区社会福祉協議会、たすけあい団体等に出向き、出前講座を開催するなど普及啓発に努めた。

さらに、市内の関係機関（行政・地域包括支援センター・民生委員等）や、千葉県後見支援センターの協力により、関係機関連絡会議を開催し、高齢者・障害者の権利擁護に関する機関の相互連携及び本事業の円滑な推進を図るための協議を行った。

○相談者内訳

高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
22人	0人	5人	2人	29人

○相談内容内訳

相談内容	件数
日常的な金銭の管理等に関する事	22件
福祉サービスの手続きなど	3件
今後の生活設計等	2件
事業への問い合わせ	1件
成年後見制度に関する事	1件

○相談・訪問調査等（相談継続ケース）

相談・訪問調査等延べ件数

高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計	うち 訪問調査件数
143件	0件	0件	0件	143件	26件

・利用者数 12人（年度当初9人利用 新規契約3人 終了0人）

・支援回数・時間（利用者12人の延べ支援回数・時間）

支援回数：121回

支援時間：174.5時間

○支援内容

①福祉サービス利用援助（福祉サービス利用手続きの援助）	12人
②財産管理サービス（預貯金の引出しや公共料金等の支払等の援助）	12人
③財産保全サービス（通帳・実印・不動産権利証等の貸金庫での保管）	2人

○生活支援員（利用者宅を定期訪問して上記①・②の支援を行う）

現任者：9人（うち令和元年度新任1人）

登録者：3人（うち令和元年度新規登録2人）

退任者：1人

○生活支援員連絡会議

（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催見送り）

○関係機関連絡会議

期 日	場 所	内 容
令和2年2月21日	ケアセンター	「令和元年度の日常生活自立支援事業に関する相談・契約等の状況について」ほか

○出前講座

令和元年6月13日	東部地域連携推進会議
7月17日	向小金地区社会福祉協議会（いきいきサロン）

○広報啓発

・「認知症安心ガイドブック」（流山市介護支援課発行） 17頁に掲載

(8) 共同募金配分金

高齢者福祉対策	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし高齢者日帰り交流会 令和2年3月10日、成田市（成田山新勝寺）へひとり暮らしの高齢者を招待予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度は中止とした。 																
ボランティアセンター	11頁～13頁参照（ボランティア活動促進）																
身体、知的障害者対策	<ul style="list-style-type: none"> 車いすの貸出し 日常生活に支障を持つ人々の社会参加を図るとともに、文化的な生活を営めるよう、市内に居住する心身障害者（児）や高齢者等、これらを介助、指導する家族、ボランティア、関係機関、団体の役職員等に車いすを貸し出し、支援に努めた。 ○車いす貸し出し年間実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>設置台数</th> <th>申請件数</th> <th>貸出台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアセンター</td> <td>85台</td> <td>305件</td> <td>366台</td> </tr> <tr> <td>流山福祉会館</td> <td>5台</td> <td>21件</td> <td>21台</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>90台</td> <td>326件</td> <td>387台</td> </tr> </tbody> </table>		設置台数	申請件数	貸出台数	ケアセンター	85台	305件	366台	流山福祉会館	5台	21件	21台	合計	90台	326件	387台
	設置台数	申請件数	貸出台数														
ケアセンター	85台	305件	366台														
流山福祉会館	5台	21件	21台														
合計	90台	326件	387台														
広報啓発	6頁参照（広報活動）																
福祉活動	6頁参照（福祉活動団体支援）																
地域福祉活動	9頁参照（地区社会福祉協議会活動の推進）																
歳末たすけあい運動	<p>低所得者（要保護世帯）や交通遺児世帯等が明るいお正月を迎えられるように、民生委員・児童委員の協力を得て、年末に援護金等を届けるとともに、従来から支援している障害者支援施設利用者や福祉施設入所者等に加え、子どもに対する支援の拡充として、30年度に引き続き、住民の手作りにより運営されている子ども食堂のネットワークに対して支援金を届けた。</p> <p>※配分内容については下表のとおり</p>																

○歳末たすけあい募金の配分

内容	世帯数等	人数	金額（千円）
要保護世帯	21世帯	38人	885
生活困窮者自立支援機関	1か所		100
市給食サービス利用者（おせち料理）		86人	189

養護老人ホーム入所者		1人	20
障害福祉サービス事業所等	43事業所		1,350
児童養護施設入所児		26人	520
交通遺児		1人	20
子どもに対する支援 (子ども食堂ネットワーク)	1共同体		250
ひとり暮らし高齢者日帰り交流事業 (※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止)	1事業		0
福祉だより第184号発行費 (共同募金特集号)			100
配分経費			18
合 計			3,732

(9) 共同募金事業への協力

赤い羽根共同募金は、戦後間もない昭和22年に市民が主体の国民助け合い運動としてスタートして以来、公的政策のみで支えられない分野や地域福祉の課題解決に取り組む民間社会福祉団体等が行う福祉事業を支援するための財源の確保と、募金活動を通じて地域住民の相互の助け合いの精神を普及することを趣旨として、全国的に広く親しまれ定着している。

共同募金の中から積み立てている災害等準備金は、近年頻発する大規模災害時に活用されるもので、令和元年台風15号・19号・大雨災害に際しては、災害ボランティアセンター運営資金として活用され、被災者に直接配分される義援金と合わせ被災者・被災地支援に役立てられた。

また、歳末たすけあい募金運動は、共同募金運動の一環として、新年を迎える時期に、地域住民やボランティア・NPO団体、民生委員・児童委員、社会福祉法人、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、高齢者、障害者、子ども、若者、福祉サービスを必要とする人など、誰もが地域福祉を支える一員として参加できるさまざまな福祉活動を展開し、孤立することなく自分らしく安心して暮らすことができる福祉のまちづくりへの幅広い理解と参加を図るものである。

本会では、千葉県共同募金会の流山市支会事務局を務め、社会福祉についての住民の理解とたすけあいの精神を高めるとともに、人々の善意による民間社会福祉事業の進展を図るため、共同募金運動を推進した。

(10) 介護保険（社会福祉事業）

・訪問介護事業

日常生活に支障のある要支援及び要介護高齢者に対して訪問介護員を派遣し、自宅における身体介護や日常生活の支援に努めた。

また、より良い支援が行なえるように、月1回以上、定期的に、職員研修会を実施し、介護技術の向上や必要な知識の習得に努めた。

○訪問介護員派遣状況

区 分	訪問介護事業全体	左記のうち総合事業
利用者数	728人	144人
身体介護	2,208時間	57時間
生活援助	2,219時間	563時間
訪問時間合計	4,427時間	620時間
延べ訪問回数	4,747回	622回

○訪問介護員研修実施状況 事業所主催研修 年間51回

定例会のほか、介護実習、新人研修等を開催するとともに、個別指導を随時実施し、職員の介護技術の向上等資質の向上に努めた。

○ターミナル（看取り）ケア実施状況 年間4ケース

○ママ&ベビーヘルプ事業

妊娠期及び産褥期の親子に対して訪問介護員を派遣し、自宅における沐浴、オムツ交換、授乳等の援助や生活支援に努めた。

利用者数	10人
訪問時間数合計	58.5時間
延べ訪問回数	51回

○生活支援サービス事業

当事業所利用中の方で、給付対象外のサービスを必要としている利用者に対して必要な支援を行い、日常生活の支援に努めた。

利用者数	43人
訪問時間数合計	214時間
延べ訪問回数	197回

・通所介護事業（高齢者デイサービス）

要支援・総合事業対象及び要介護者を送迎し、介護保険法のケアプランに沿ったサービスの提供を行い、生活意欲の向上や社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上と併せ、介護者の身体的・精神的な負担の軽減に努めた。

また、平成29年度から開所時間を7時間30分に拡大し、サービスの充実と向上を図った。

地域包括ケアシステムの構築と医療、介護連携構築のための会議、講義に積極的に参加し、職員のより専門的なスキル向上に努めた。

○サービスの種類・内容

項目	内容
①日常動作訓練	音楽・創作的活動・レクリエーション・屋外活動等
②健康指導	検温、脈拍及び血圧チェック・栄養指導
③生活指導・相談	日常生活上の訓練、指導、相談
④給食サービス	栄養士作成の献立による栄養及び身体状況・嗜好を考慮した食事の提供
⑤入浴サービス	一般浴・リフト浴を用意し、安全かつ快適な入浴の提供
⑥機能訓練	機能訓練指導員による心身等の状況に応じた機能の維持・向上訓練

○利用状況

開所日数		308日
利用者延べ人数		4,856人
内 訳	総合事業	159人
	要介護1	1,548人
	要介護2	1,856人
	要介護3	688人
	要介護4	605人
	要介護5	0人
入浴サービス利用者延べ人数		3,587人
給食サービス利用者延べ人数		4,765人
送迎サービス利用者延べ人数		9,512人

(11) 居宅介護

・ 障害者等訪問介護事業

日常生活に支障のある身体・知的・精神障害者（児）等に対して訪問介護員を派遣し、自宅における身体介護、日常生活の支援及び外出のための支援に努めた。

○訪問介護員派遣状況

利用者数	159人
身体介護時間数	1,240時間
生活援助時間数	503.5時間
重度訪問時間数	1,220.5時間
同行援護時間数	147時間
移動支援時間数 (身体介護を伴う)	9時間
(身体を伴わない)	0時間
訪問時間数合計	3,120.5時間
延べ訪問回数	1,929回

○吸引等特定行為実施状況

人工呼吸器装着の重度の利用者2人に対して、痰の吸引や胃瘻による注入等の特定行為を実施した。

年間延訪問延べ日数 447日

・身体障害者デイサービス事業

流山市からの受託事業として、在宅の身体障害者を送迎し、各種サービスの提供、専門講師によるリハビリ（松戸整形外科より理学療法士、作業療法士を派遣）、音楽療法、木彫り、書道、七宝焼、絵画などを通じ、心身機能の維持・向上、家庭内自立や職場復帰を目指す方の自立と、社会参加を促進し、併せて家族の身体的・精神的な負担の軽減に努めた。

なお、利用者に満足していただけるようデイサービスセンターの廊下に「目安箱」を設置し、広く利用者等から意見を求め、デイサービスの運営の改善に努めた。

また、利用者や介護者にデイサービスでの利用者の様子や行事などを紹介し、デイサービス事業への理解と関心を深めていただけるように、3か月毎に施設だより「フレンズ」を発行した。

なお、平成28年度から土曜日及び祝日も開所し、サービスの充実と向上を図った。

○サービスの種類・内容

項目	内容
①機能訓練	理学療法、作業療法、音楽療法
②創作的活動	木彫り・書道・七宝焼き・絵画・作品作り等
③社会適応訓練	パソコン・屋外活動等
④健康指導	検温、脈拍及び血圧チェック・栄養指導
⑤更生相談	福祉、日常生活等の各種相談
⑥給食サービス	栄養士作成の献立による栄養及び身体状況・嗜好を考慮した食事の提供
⑦入浴サービス	一般浴・リフト浴を用意し、安全かつ快適な入浴の提供

○利用状況

開所日数		282日
利用者延べ人数		2,469人
内 訳	区分1(軽度)	1,232人
	区分2(中度)	966人
	区分3(重度)	271人
入浴サービス利用者延べ人数		1,052人
給食サービス利用者延べ人数		2,405人
送迎サービス利用者延べ人数		4,648人

(12) 放課後児童健全育成

・あすなる学童クラブ、ひまわり第1学童クラブ、ひまわり第2学童クラブ及びひまわり第3学童クラブの管理運営

平成24年度から指定管理者として、あすなる学童クラブとひまわり学童クラブの3クラブを管理・経営を行っている。子育て世代の増加に伴い、令和元年7月度には鱈ヶ崎小学校区にひまわり第3学童クラブを受託し、その学童クラブの管理・経営も行った。

南流山小学校及び鱈ヶ崎小学校に通学し、保護者が就労等で放課後の家庭保育が困難な概ね10歳未満の児童を保護者が終業後迎えに来るまでの間、学童クラブで保育し、楽しく集団生活を送ることで、保護者が安心して仕事と子育てを両立できるよう努めた。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、3月3日から24日までの小学校一斉休校期間には、夏休みと同様に、午前7時から学童クラブを開所し、仕事を休めない保護者に代わり、感染予防策を講じたうえで、児童が安全に集団生活を送れるよう努めた。

○サービスの種類・内容

項目	内容
①日常保育	おやつ・室内・外遊び（集団・自由）・宿題・読書 等
②行事	誕生会（毎月）・お楽しみ会・昼食会・遠足 等
③親子行事（保護者会と共催）	夏季・冬季に1回ずつ開催

※令和元年度の「お別れ遠足」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため両学童クラブとも中止。

○開設・利用状況(延べ)

		あすなろ学童 クラブ	ひまわり第1 学童クラブ	ひまわり第2 学童クラブ	ひまわり第3 学童クラブ
開設日数		252日	253日	254日	212日
開設時間		1,614時間	1,887時間	1,732時間	1,392時間
児童数 (月延べ/平均)		2,371/197.6人	518/43.2人	437/36.4人	611/50.9人
内 訳	1年生	1,021/85.1人	209/17.4人	186/15.5人	167/13.9人
	2年生	734/61.2人	231/19.3人	180/15.0人	196/16.3人
	3年生	479/39.9人	69/5.8人	60/5.0人	248/20.7人
	4年生	125/10.4人	9/0.8人	11/0.9人	
	6年生	12/1人			

○保育時間

平日	授業終了後 ～ 午後9時
土曜日・夏休み等	午前7時 ～ 午後9時

(13) 生活困窮者等の支援

・福祉資金の貸付事業

低所得世帯等に対し、資金の貸付と必要な相談援助により、経済的自立と生活意欲の助長をはかり、安定した生活が送れるよう、生活福祉資金（福祉資金・教育支援資金・不動産担保型生活資金・総合支援資金・緊急小口資金・臨時特例つなぎ資金）及び愛の資金（小口貸付資金）の貸付相談及び支援、償還指導に努めた。

特に、生活困窮者（世帯）等に対しては、平成27年4月より施行された生活困窮者自立支援事業と連携し、流山市及び流山市くらしサポートセンターユーネット（生活困窮者自立支援事業自立相談支援機関）、公共職業安定所等と連携した対応を行い、自立相談支援機関の作成する自立支援計画に基づき貸付申請につなぎ、貸付の実施後においても、自立相談支援機関とともに、当該世帯への見守り及び償還指導を行い、生活の安定が図れるように努めた。

さらに、令和2年3月25日からは、新型コロナウイルスの影響による収入減少等が著しい世帯に対して、緊急小口資金と総合支援資金の特例貸付の受付を開始し、資金需要に応えた。

○相談内容・件数(令和元年度)

相談内容	件数
生活費	189件
失業	22件
就学・修学費	121件
医療・介護費	10件
不動産担保型生活資金	11件
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	9件
転居費	21件
自己破産・倒産	2件
住宅改修	8件
冠婚葬祭費	0件
事業資金	2件
出産費	0件
障害者自動車購入	0件
福祉用具購入	0件
その他	137件
償還相談	52件
合計	584件

○貸付状況（令和元年度貸付件数）

・生活福祉資金（千葉県社会福祉協議会委託事業）

資金名	申請件数（申請額）	決定件数（決定額）	備考
福祉資金	0件（0円）	0件（0円）	
教育支援資金	8件（11,761,500円）	8件（11,761,500円）	大学(3)、専門(4)、高校(1)
総合支援資金*	0件（0円）	0件（0円）	
緊急小口資金*	13件（1,263,600円）	8件（645,600円）	通常小口(6)、コロナ特例(2) ※コロナ特例4件は申請中 (4月に決定)
臨時特例 つなぎ資金*	0件（0円）	0件（0円）	
合計	21件(13,025,100円)	16件(12,407,100円)	
不動産担保型 生活資金	0件（0円）	0件（0円）	

*印は生活困窮者自立支援事業との連携対応を要する貸付資金

・愛の資金（本会独自事業・小口貸付資金）

件数	金額
142件	3,766,593円

・法外援護

件数	金額
5件	2,500円

・災害見舞金

区分	件数	金額
火災全焼	2件	30,000円
死亡・重傷	0件	0円
全壊	1件	20,000円
半壊	2件	20,000円
合計	5件	70,000円

(14) 施設管理

・流山福社会館の管理運営

○開館日・利用時間

<開館日> 年末年始（12月29日～1月3日）を除く毎日

<利用時間> 午前9時～午後10時

利用者の利用に支障のないように午前8時30分に開館し、午後5時以降の利用がない場合は、午後5時に閉館した。また、夜間（午後5時以降）の運営・管理にあたっては、市民の利便に供するよう柔軟な対応と経費節減に努めた。

○利用件数・人数

場所	利用可能 日数	午 前		午 後		夜 間		件数 合計	利用者 合計
		件数	人数	件数	人数	件数	人数		
大広間	360	198	2,490	230	3,111	63	915	491	6,516
和 室	360	313	3,054	305	2,542	17	131	635	5,727
会議室	360	472	4,562	707	7,648	75	456	1,254	12,666
音楽室	360	278	1,607	316	1,440	87	259	681	3,306
計	1,440	1,261	11,713	1,558	14,741	242	1,761	3,061	28,215

○入浴施設の開設日・利用時間

<開設日> 週4日（火・水・金・日曜日）

<利用時間> 午前10時～午後3時

特に高齢者の利用が多いため、受付業務等を利用者の利便性や特性に配慮して、利用者の希望や要望に適うよう努めた。特に、入浴施設の運営には、利用心得等を掲示し、菖蒲湯（5月）やゆず湯（12月）等季節を感じる工夫を凝らし、常に浴室及び休憩室を清潔に保ち、安心・安全に利用できるよう努めた。

入浴者数（年間） 4, 3 3 6 人

○施設の機能を生かした事業等

施設利用に係る満足度調査の実施結果を踏まえ、利用者の利便向上に資するよう努めた。

また、地域の自治会等の恒例的な行事の使用については、年間予定の事前調整を行うなど地域団体等の利用に配慮した。

○自主事業について

- ①江戸川堤で第43回流山花火大会の開催に際し、当館では花火大会実行委員会と連携して全室を夜10時まで開放し、観覧者のトイレや休憩、授乳などの場として、利用していただいた

期 日 令和元年8月23日
内 容 第43回流山花火大会休憩所

- ②新年を迎える時期に、支援を必要とする方たちが地域で安心して暮らすことができるよう、歳末たすけあい募金チャリティイベントを実施した。

期 日 令和元年12月15日
内 容 「天保六花撰講談の会」
(※金子市之丞生誕250年「供養祭」・実行委員会)との共催)
入場者 150人
募金額 19,155円

- ③お風呂をご利用の皆様に季節感を味わっていただくものとして、菖蒲湯とゆず湯を実施した。

期 日 令和元年 5月22日(日)…菖蒲湯
12月22日(日)…ゆず湯
利用者数 菖蒲湯 25人
ゆず湯 28人

- ④車いすを貸し出し、借りに来られる方の利便性の向上を図った。

期 間 通年
貸出台数 21台(21件)

○各設備の維持管理

各設備の保守点検等は、関係法令及び各ガイドラインを遵守し、計画的に実施した。

建物の保守管理については、随時館内巡視と定期的な施設設備の点検を実施し、設備の不具合及び故障箇所の早期発見と速やかな修理・復旧に努めた。

また、年間を通じて施設敷地内の除草や花木の手入れ等を実施し、環境の整備・管理に努めた。

○修繕等

施設の老朽化に伴い、1階和室のエアコン、男女浴室の混合栓交換、2階和室の照明器具、正面玄関アルミ框扉のフロアヒンジの交換、大広間障子の張り替え等を行った。

また、施設の簡易な補修や修理等は、職員が手がけるなど経費の節減に努めた。

・流山市地域福祉センター（流山市ケアセンター）の管理運営

○開館日・利用時間

<開館日> 月曜日から金曜日（ただし、祝日・年末年始（12月29日～1月3日）は除く）。

ただし、高齢者及び身体障害者デイサービスについては、土曜日と祝日も開設した。

<利用時間> 午前9時～午後5時。ただし、利用内容によっては午後7時まで対応した。

○利用件数・人数

場 所	利用可能 日数	午 前		午 後		夜 間		件数 合計	利用者 合計
		件数	人数	件数	人数	件数	人数		
第1研修室	244	136	1,848	148	2,060	2	44	286	3,952
第2研修室	244	107	1,151	122	1,339	2	43	231	2,533
第3研修室	244	120	1,396	139	1,834	0	0	259	3,230
第4研修室	244	91	423	93	399	0	0	184	822
第5研修室	244	159	756	166	831	0	0	325	1,587
計	1,220	613	5,574	668	6,463	4	87	1,285	12,124

○施設の機能を生かした事業等

高齢者デイサービスセンター、身体障害者デイサービスセンター、南部地域包括支援センター、ボランティアセンター、ホームヘルプステーション等を設置、運営し、これらの市内事業関係者の研修や会議等も実施した。

また、高齢者及び身体障害者デイサービスセンターにおいて、小学生の社会見学や中学生の体験学習、大学生（教員免許資格取得者）を受け入れ、福祉施設における教育実習に協力した。

○自主事業について

主な自主事業として、各種ボランティア養成講座等の開催や車いす、点字器などの福祉機器の貸し出しのほか、福祉団体などの協力を得て「流山市ケアセンターまつり」を開催し、施設の紹介や社会福祉協議会の活動内容について、地域の方々へ積極的にPRし、理解を深めていただけるよう努めた。

また、成年後見制度の普及啓発のため、裁判所から講師を招いて、市民向けの講演会を開催し、理解を深めていただけるよう努めた。

①流山市ケアセンターまつりの開催

施設や社会福祉協議会の活動内容について、市民に理解や認識を深めていただき、福祉の啓発を図ることを目的に開催した。また、地域連携のもと、市内の介護事業者やボランティアグループにもご協力いただき、各種の催しを行った。

期 日 令和元年7月7日

来場者数 300余人

・地域の方々との交流

産直野菜の販売、カフェ・お祭り広場の開催

・福祉機器体験や介護教室、介護相談コーナーの開催

・ボランティアグループによるステージ

・災害ボランティアセンターの紹介

一方、ケアセンターの機能や役割を知ってもらうため、「流山産業博2020」への参加に向けて流山市商工会議所青年部と連携し、準備を重ねてきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止ため、中止した。

②ボランティア養成講座等の開催（9頁～17頁参照）

③福祉機器等の貸出件数

◇点字器、アイマスク、白杖、高齢者疑似体験セット、ワイヤレスマイクセット（ハンド・ピン）、ライト等（12～13頁参照）

◇車いす

期 間 通年

貸出台数 366台（305件）

④心配ごと相談所の開設（17～18頁参照）

⑤成年後見制度相談所の開設（18～19頁参照）

○各設備の維持管理

各施設、設備の保守点検等については、関係法令及び各種ガイドラインに則して計画的に実施し、施設利用者の利便性・安全性及び管理上、トイレ水漏れなど速やかに修理・復旧に努めた。

また、施設敷地内の樹木の剪定及び除草等を定期的に行い、環境に配慮した施設の維持管理に努めた。

○修繕等

施設の老朽化に伴い、縞鋼板蓋の交換、ブラインドカーテンの破損による取り換え等を行った。

また、軽易な修繕は職員が行い、経費の節減に努めた。

(15) 基金の運営

・ 災害対策基金

災害対策基本法に規定する災害の発生時に備えるための資金を整理・設置し、災害発生時に備えて必要な資金の迅速かつ必要に応じた対応を可能にする目的として、従来の災害対策積立金から「災害対策基金」として改めて設置し、昨今の大震災の多発、大規模自然災害の状況などを勘案し有事に備えて、寄付金や事業利益を元に資金造成及び管理を行うこととした。資金確保のため、基金から生ずる利息の確保に努めた。

今年度は、台風15号や10月の大雨による県内被災地への災害支援のため、職員派遣に係る費用291,000円を取り崩して対応した。

・ 施設管理修繕基金

本会が管理する地域福祉センターや流山福祉会館、流山こまぎ園等、施設の経年劣化に伴う修繕費や施設改修費等の必要な資金を確保する目的として従来の社会福祉振興積立金を原資に改めて設置し、寄付金や事業利益を元に資金造成及び管理を行うこととした。修繕等費用の確保のため、基金から生ずる利息の確保に努めた。

・ 財政調整積立基金

年度間の財源調整を行い本会の財政の健全性の確保を目的として、これまでの財政調整積立金から「財政調整積立基金」として改めて設置し、寄付金や事業利益を基に資金造成及び管理を行うこととした。各事業の実施のため本基金の取り崩し及び基金から生ずる利息の確保に努めた。

(16) 就労支援

・指定障害者福祉サービス事業所（就労継続支援B型）流山こまぎ園事業

障害のある人の働く場として、生産活動や社会参加活動等の機会を提供し就労のための知識・能力向上のため必要な訓練を行った。

令和元年度の利用者は、13人で利用者の増減はなかった。

買物かご洗浄の受託事業は予算どおりに推移しており、利用者工賃を平均額30,084円支給し、春から初冬にかけては菜園活動（畑作業）を実施するなど活動内容の一層の充実に努めた。

また、就労希望の利用者1人に対して、障害者就業・生活支援センターと連携して、一般就労に向けての企業実習に参加することができた。

さらに、社会福祉協議会が設置運営する事業所という特性を踏まえ、障害の有無にかかわらず相互に尊重し合い、共生できる地域社会づくりに向けて、八木北地区社会福祉協議会との連携・協働による共催事業の実施や収穫した野菜の販売、芋ほり交流会等をとおして、地域交流を促進した。

このように、当事業所の効果的な運営を確保するとともに、利用者の自立支援と社会参加の促進を図り、就労継続支援事業の推進に努めた。

○業務内容

項目	内容
生産活動	買物かごの洗浄作業
文化教養活動	和太鼓、日帰り旅行ほか
健康指導	健康診断の実施、インフルエンザワクチン接種料の助成

○利用状況

年間開所日数	241日
利用実人員	13人
利用延べ人数	3,031人

○作業実績

内容	個数
買物かご洗浄個数	1,091,210個
1日当たり平均洗浄個数	4,528個

○各設備の維持管理

各設備の保守点検等は、関係法令及び各ガイドラインを遵守し、計画的に実施した。

また、年間を通じて施設敷地内の除草や花木の手入れ等を実施し、環境整

備に努めた。

○修繕等

経年劣化による天井カセット型エアコンの水漏れや給水ポンプの故障による修理を実施した。

2 公益事業

介護保険

・居宅介護支援

要支援者及び要介護者が適切な保健、医療サービス及び福祉サービスを総合的かつ効率的に受けられるよう配慮し、関係市町村、地域の保健・医療サービス及び福祉サービス事業者等と連携を図りつつ、総合的なケアマネジメントに努めた。

◇居宅介護支援延べ実施件数

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
783件	647件	370件	197件	137件	2,134件

◇介護予防居宅介護支援実施延べ件数

要支援1	要支援2	総合事業	合計
28件	64件	99件	191件

・介護認定訪問調査受託事業

流山市から介護認定訪問調査業務を受託し、介護保険法に基づく要介護認定申請者に対して、関係法令を遵守し、公正中立な立場で介護認定調査を実施した。

年間実施件数 1,645件

・流山市南部地域包括支援センター受託運営事業

(1) 総合相談支援業務

担当地域に住む高齢者に関する様々な相談をすべて受け止め、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、継続的にフォローするとともに、必要に応じて継続支援している。多種多様なケース対応のため、日頃より関係機関との連携を密にしている。

○相談形態別延べ件数

電話	来所	訪問	その他 (メール・FAX等)	合計
2, 523件	523件	787件	19件	3, 852件

○相談内容別延べ件数

介護・ 日常生活	認知症	サービス 利用	介護 予防	医療	経済 問題
2, 829件	240件	1, 494件	72件	449件	102件

苦情 相談	虐待防止 ・対応	成年後見 制度等	消費者被害 防止・対応	DV防止 ・対応	その他	合計
6件	108件	103件	2件	0件	25件	5, 430件

○処遇困難実件数

8050 問題	ダブル ケア	ヤング ケアラー	介護離職	貧困 世帯	独居 認知症	認知 世帯	若年性 認知症
5件	8件	0件	1件	10件	35件	6件	3件

○地域コミュニティケア会議を小学校区毎に開催し、多職種との顔合わせの場を設けて、ネットワークの強化を図った。

回数	期日	場所	出席者数
鱸ヶ崎小学校区事前会議	令和元年 5月 7日	地域福祉センター	10人
鱸ヶ崎小学校区本会議	6月12日		25人
北小学校区事前会議	7月29日		9人
北小学校区本会議	8月30日		20人
流山小学校区事前会議	10月17日		12人
流山小学校区本会議	11月27日		43人
南流山小学校区事前会議	12月17日		6人
南流山小学校区本会議	令和2年 2月 7日		33人

<会議事項>

[鱸ヶ崎小学校区]・事例をもとに、社会資源の確認、及び地域の力の確認。
 [北小学校区]・事例をもとに、社会資源の確認、及び地域の力の確認。
 [流山小学校区]・災害に備えておくこと（地域の力を含む）自身は何に取り組むか？
 [南流山小学校区]・高齢者等へ災害に備え準備できる事。

(2) 権利擁護業務

高齢者の適切な権利行使や権利侵害からの救済及び侵害防止のための支援を行い、また、地域支援事業として周知活動を実施した。

○高齢者の権利擁護

内 容	件 数
成年後見制度相談	18件（うち市長申し立て4件）
虐待通報	受理12件（うち虐待ありと判断6件）

○認知症高齢者支援

内 容	開催回数	参加者延べ人数
認知症家族等のつどい	6回	98人
認知症サポーター養成講座	12回	896人
<内訳>		
広く地域住民（ケアセンターにて）	2回	28人
流山小学校5年生	1回	150人
流山北小学校3年生	1回	118人
南流山小学校5年生	1回	139人
南部中1年生	1回	270人
流山南高校生	1回	22人
介護支援サポーター	2回	19人
ゆうゆう大学	2回	133人
介護保険モニター	1回	17人
認知症サポーターフォローアップ教室	2件	38件

(3) 介護予防ケアマネジメント業務

介護保険の基本理念に基づき「自立支援」を目的とし、生活上のさまざまな課題を抱える高齢者に対して適切な支援を行うことにより、要支援・要介護の予防やその重症化の予防、改善を図り、早い段階から高齢者ができる限り自立した生活を送れるように支援した。

○介護保険認定者区分別者延べ人数

	更 新	新 規	区分変更	合 計
要支援	192人	180人	4人	376人
非該当	5人	6人	0人	11人
合 計	197人	186人	4人	387人

○介護予防・ケアマネジメント実施延べ件数

包括	785件
委託	1,804件
合計	2,589件

(4) 介護予防の普及・啓発

○出前講座

訪問先	件数等	内 容
単位老人クラブ	2クラブ	転倒予防、健康体操、消費者被害防止、 認知症予防、口腔体操、介護保険講座 等
ふれあいの家	2か所	
自治会	7か所	
地区社会福祉協議会	5か所	

(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

主な業務	件数等	内 容
介護支援専門員への個別支援	137件	虐待、成年後見、所得、認知症、精神障害等の 困難ケース等
南部地域ケアマネ交流会	5回 243人	<ul style="list-style-type: none"> ・流山市の災害発生時の対応について学ぶ ・事例検討会 (小グループに分かれて事例検討) ・医療との連携(事例検討、各機関からの 情報提供、意見貢献、交流等) ・生活困窮者支援について(生活困窮者自立 支援事業・流山市生活保護のしくみ・ 流山市社会福祉協議会の貸金貸付制度) ・民生委員の紹介、民生委員の見守り活動に ついて
地域ケア会議	5回	<p>高齢者個人が抱える課題を、医療や介護等の 専門職を含む多職種が協働して解決のために意 見交換を行うことで、利用者が、住み慣れた地 域で自立した尊厳のある生活を送れるよう支援 する。</p> <p>*すべてのケースが、家族での解決能力が低く なっている。</p>

(6) その他

- ・ツイッターの更新、チラシ等の配布により地域へのPRを継続して行った。
- ・資源マップを小学校区地域ごとに取りまとめ、介護、介護予防等の地域の情報を整理し、随時更新した。

3 収益事業

・自動販売機設置

飲料水の売り上げの収益の一部が本会の収益となり、福祉活動を通して市民に還元することができる社会貢献型自動販売機の設置に取り組んでいる。

市内の公共施設等にご協力をいただき、令和2年3月末現在で19か所、21台の社会貢献型自動販売機を置かせていただいている。(コミュニティプラザとキッコーマンアリーナ、ケアセンターについては、災害発生時には本体に残っている飲料が無償で提供される災害ベンダー機能付き。)

○自動販売機設置状況

場 所	災害ベンダー機能	台 数
江戸川台福祉会館		1台
思井福祉会館		1台
流山福祉会館		1台
西深井福祉会館		1台
東深井福祉会館		1台
平和台福祉会館		1台
南流山福祉会館		2台
向小金福祉会館		1台
名都借福祉会館		1台
キッコーマンアリーナ	○	2台
コミュニティプラザ	○	1台
北部公民館		1台
森の図書館		1台
クリーンセンター	リサイクル館	1台
	プラザ館	1台
	ごみ焼却施設	1台
ケアセンター	○	1台
流山こまぎ園		1台
野々下の樹		1台
合 計		21台